

# ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医の

カルテ



34



あらい犬猫病院長  
荒井 靖子  
(富山市婦中町下樽田)

昨今の猫ブームもあり、猫の来院数はここ数年増えています。犬の飼育頭数は年々減っていると言われていますが、動物病院には新たに犬を迎えたご家族がたくさん来院されます。

その一方で、殺処分される犬猫数は年々減少してはいるものの、ゼロにはほど遠いのが現実です。

動物愛護法では「終生飼養」がうたわれています。動物を飼うことは、動物の命を預かることです。飼い主は、動物が健康で快適に暮らせるようにするとともに、周囲に迷惑を及ぼさないようにしなければなりません。環境省が掲げる「飼い主に守ってほしい5か条」

## これから犬猫を飼う方へ



### 一生に責任を持つ

を紹介します。

- 1・動物の習性等を正しく理解し、最後まで責任をもって飼いましょう
- 2・人に危害を加えたり、近隣に迷惑をかけることのないようにしましょう
- 3・むやみに繁殖させないようにしましょう

4・動物による感染症の知識を持ちましょう

5・盗難や迷子を防ぐため、所有者を明らかにしましょう

犬や猫を飼うことは、その犬や猫の一生に責任を持つことです。どんな種類の犬や猫を飼うかだけでなく、家族の一員として寿命を迎えるまで飼いつづけられるか、飼

た経験があったとしても、高齢の方がゴールデン・レトリバーなどの大型犬を飼うのはどうでしょう？ 力が強いので散歩や病院に連れて行くのもたいへんですし、やがて老老介護になることも考えられます。きちんと最後まで養い育てることができでしょうか。

ご自身が亡くなった後を引き継ぎ、世話を託すことができる方を見つけておくことも大切です。10年、15年後も見据えて、犬や猫との生活をシミュレーションしてみてください。

犬や猫を飼い始める時には、餌や首輪、ゲージだけでなく、感染症予防、病気の予防にもお金がかかることを知っておきましょう。

愛犬・愛猫と長く一緒に過ごすために、必要な予防を受けさせてあげることも飼い主さんの義務の一つです。

全ての犬や猫が適正に終生飼育され、不幸な犬や猫が少しでも減るように祈るばかりです。

保護され、一時期、あらい犬猫病院で飼っていた猫。その後、里親が見つかった